

姿勢保持装置のISO規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙①：頭部支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は頭部支持です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：頭部支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの頭部支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

○取り外し可能なブロック形状、高さ調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。 _____ %

○取り外し可能なブロック形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。 _____ %

○取り外し可能なコンター形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの _____ %

○硬質背支持に取り付けられ多数調整が可能なパッドからなりビニール、布、フォームからなる。 _____ %

○他（記入してください） _____

B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

背支持（バックサポート）に固定されている高さ調整可能な頭部支持

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

背支持（バックサポート）からの取り外しが可能で、高さと前後調整ができる頭部支持

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

多方向調整可能な構造の頭部支持

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

すべり	1	2	3	4	5
<u>パッドカバー</u>					
ほつれ	1	2	3	4	5
パッドフォームの擦り切れ	1	2	3	4	5
表面の劣化	1	2	3	4	5
<u>パッドフォーム</u>					
圧縮性能の低下	1	2	3	4	5
他（記入してください）					

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 固定された調整できない部品の曲げ、破損、調整の外れ _____%
 取り外し可能、高さ前後調整可能な部品の曲げ、破損、調整の外れ _____%
 多方向調整可能構造な部品の曲げ、破損、調整の外れ _____%
 パッドの素材の亀裂や破損 _____%
 多調整多パッド _____%
 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 背に固定された調整できない頭部支持
 _____ （バックサポートの）取り外し可能、高さ前後調整可能な頭部支持
 _____ 多方向へ調整可能な頭部支持
 _____ ビニールとフォームパッド
 _____ 布製パッド
 _____ フォームのみ
 _____ 多パッド（複数のパッド）
 他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定して下さい。○をつけるか、別の内容の場合は記入して下さい。

- 製品の不適切な使用
 誤用、製品寿命
 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____
 所属 _____
 電話 _____
 E-mail _____

姿勢保持装置のISO規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙②：足部支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は足部支持です。

目的：ISO16840:3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：足部支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの足部支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 足首周囲支持 _____%
- 角度調整型足部板 _____%
- 屈曲角度調整足部板 _____%
- 内反・屈曲調整足部板 _____%
- 足部ボックス _____% (参考) → → →
- 左右一体型足部板 _____%
- 他（記入してください） _____%



B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

靴固定装置

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5

足首周囲支持

縫い目のほつれ	1	2	3	4	5
バックルの破損	1	2	3	4	5
調節装置の外れ	1	2	3	4	5

角度調整型足部板（屈曲のみ）

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
調整のずれ	1	2	3	4	5
すべり	1	2	3	4	5

内反・屈曲調整足部板

曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
<u>足部ボックス</u>					
曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
<u>左右一体型足部板</u>					
曲がる	1	2	3	4	5
破損	1	2	3	4	5
他（記入してください） _____					

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 靴固定装置 _____ %
 ○足首周囲支持 _____ %
 ○角度調節型足部板 _____ %
 ○屈曲角度調整足部板 _____ %
 ○内反屈曲調整足部板 _____ %
 ○足部ボックス _____ %
 ○左右一体型足部板 _____ %
 ○他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 靴固定装置
 _____ 足首周囲支持
 _____ 角度調節型足部板
 _____ 屈曲角度調整足部支持
 _____ 内反屈曲調整足部板
 _____ 足部ボックス
 _____ 左右一体型足部板

他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定して下さい。○をつけるか、別の内容の場合は記入して下さい。

- 製品の不適切な使用
 ○誤用、製品寿命
 ○製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____
 所属 _____
 電話 _____
 E-mail _____

姿勢保持装置のISO規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙③：体幹前方支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は胸ベルト、胸受けパットなどの体幹前方支持です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：体幹前方支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの体幹前方支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 硬質プラスチック支持 _____ %
- ウェットスーツ生地の一体型支持 _____ %
- 伸びが抑えられているゴム材質 _____ %
- チェックが付いている _____ %
- 単一胸ベルト _____ %
- リュックサックタイプ _____ %
- 他（記入してください） _____

B.

次のようなカテゴリーにおける破損は何%位に起こりますか。

- _____ % 付属する金具等の破損
- _____ % 硬質支持材の亀裂や破損
- _____ % クッションカバーの破損
- _____ % クッションフォームの破損
- _____ % 取り外し金具の破損
- _____ % 姿勢支持部品やストラップの分離や紛失
- _____ % 装置の固定部が破損（側方体幹支持、頭部支持など）

他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 固定金具破損 _____ %
 固定支持素材の亀裂や破損 _____ %
 クッションカバーの破損 _____ %
 クッションフォームの破損 _____ %
 取り外し金具の破損 _____ %
 装置の固定部が破損（側方体幹支持、頭部支持） _____ %
 他（状況と比率を記入してください）

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

_____ 合板とフォームからなる取り外し可能な平面板背支持

_____ 取り外し可能な、背形状支持

_____ 取り外し可能で、挿入タイプの背支持



_____ 取り外し可能なクッションの固定

_____ 調整可能なベルト調整式背支持

_____ 取り外し可能な短い背支持



_____ モールドプラスチックで製作された分

_____ 側方支持がついたディープ形状背支持

他（記述してください）

離できるクッション

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

- 製品の不適切な使用
 誤用、製品寿命
 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置の ISO 規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙④：骨盤前方支持

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は骨盤ベルト、骨盤パッドなどの骨盤前方支持です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：骨盤前方支持の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの骨盤前方支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 車いすに装着されるパッドのついていない布製のベルト _____ %
- 車いすに装着されるパッドのついていない終端が長さ調節できる布製のベルト _____ %
- 布とパッドが滑るようになっている布製のベルト _____ %
- 布とパッドが縫われている終端が長さ調節できる布製のベルト _____ %
- 布とパッドが縫われている布製のベルト _____ %
- ラッチバックル（自動車シートベルト固定）（ベルト全体での比率） _____ %
- 押しボタン式バックル（ベルト全体での比率） _____ %
- 側方外し式バックル（両側をつまんで外せる）（ベルト全体での比率） _____ %
- 他（記入してください） _____

B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

編みこみから布が裂ける	1	2	3	4	5
編みこみからほつれる	1	2	3	4	5
装着している時に調整がずれる	1	2	3	4	5
締めることが困難か、時間とともに緩む	1	2	3	4	5
使用中に側方外しバックルが壊れる	1	2	3	4	5
押しボタン式バックルが壊れる	1	2	3	4	5
ラッチバックルが壊れる	1	2	3	4	5
編みこみが裂ける	1	2	3	4	5
編みこみが振じれてパッドの中で狭くなる	1	2	3	4	5
人間をベルトで必要な位置に固定できない	1	2	3	4	5
パッドの柔らかさや形状の変化	1	2	3	4	5
時間とともにパッドがずれる	1	2	3	4	5

他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 車いすに装着される、パッドのついていない布製のベルト _____
_____%
- 車いすに装着される、パッドのついていない終端が長さ調節できる布製のベルト _____%
- パッドとはと目が滑るようになっている布製のベルト _____%
- パッドとはと目が縫われている布製のベルト _____%
- パッドの終端が長さ調節できる布製のベルト _____%
- ラッチバックル _____%
- 押しボタン式バックル _____
_____%
- 側方外し式バックル _____
_____%
- 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 車いすに装着されるパッドのついていない布製のベルト
- _____ 車いすに装着されるパッドのついていない終端が長さ調節できる布製のベルト
- _____ パッドとはと目が滑るようになっている布製ベルト
- _____ パッドとはと目が縫われている布製のベルト
- _____ パッドとはと目が縫われている終端が長さ調節できる布製のベルト
- _____ ラッチバックル (ベルトの上にある%) _____%
- _____ 押しボタン式バックル (ベルトの上にある%) _____%
- _____ 側方外し式バックル (ベルトの上にある%) _____%

他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定して下さい。○をつけるか、別の内容の場合は記入して下さい。

- 製品の不適切な使用
- 誤用、製品寿命
- 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置のISO規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙⑤：座位支持面

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は座位支持面です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：座位支持面の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 E-mail:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの固定座支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- ドロップフックを使用した合板とブロックフォーム _____ %
- ドロップフックを使用した合板とコンターフォーム _____ %
- ドロップフックが使用されていない固定板挿入型 _____ %
- モールド型 _____ %
- その他（記入してください） _____

B.

次のようなカテゴリーにおける破損は何%位に起こりますか。

- _____ % 付属する金具等の破損
- _____ % 支持材の亀裂や破損
- _____ % クッションカバーの破損
- _____ % クッションフォームの破損
- _____ % 取り外し金具の破損
- _____ % 装置の固定部が破損（股関節内転支持など）

他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 固定金具破損 _____ %
- 固定支持材質の亀裂や破損 _____ %
- クッションカバー破損 _____ %
- クッションフォーム破損 _____ %
- 取り外し金具の破損 _____ %
- 装置の固定部が破損（股関節内転支持など） _____ %
- 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

_____ ドロップフックを使用した合板とコンターフォーム

_____ ドロップフックを使用した合板とブロックフォーム

_____ ドロップフックが使用されていない固定板挿入型

_____ モールド型

他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

- 製品の不適切な使用
- 誤用、製品寿命
- 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

姿勢保持装置の ISO 規格の改定：破損状態のデータ、データ収集用紙⑥：背支持面

対象：姿勢保持装置は車いすシーティングの付加部品として、または車いすシーティングそのものを目的として一般的に使用されます。この調査対象は背支持面です。

目的：ISO16840-3の作業グループは現在の規格の改定作業を進めています。改訂の参考にするために、姿勢保持装置の破損状態を国際的に調査することになりました。この調査結果を用いて、担当委員会は現在の規格が姿勢保持装置の使用者が経験する一般的破損状態と合致しているかどうかを評価します。

調査のお願い：背支持面の破損状態に関するあなたの経験をまとめて、この用紙に記入して下さい。

この用紙を以下の宛先に送付をお願いいたします。委員会はこのデータを収集し、次のISO会議（10月ドイツ、ベルリン開催）に報告する予定です。この情報はISO改訂のための必要な項目決定などの作業をする委員会の基礎データとなります。

送付先 359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
廣瀬秀行 FAX:04-2995-3132 Email:hirose@rehab.go.jp

A. 製品について

どのようなタイプの固定背支持（背支持面）ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

○合板とフォームからなる取り外し可能な平面板背支持 _____ %

○取り外し可能な、背形状支持 _____ %

○取り外し可能で、挿入タイプの背支持 _____ %



○取り外し可能なクッション背支持 _____ %

○調整可能なベルト調整式背支持 _____ %

○取り外し可能な短い背支持 _____ %



○モールドプラスチックで製作、クッションは分離可 _____ %

○側方支持がついたディープ形状背支持 _____ %

○他（記入してください） _____

B.

次のようなカテゴリーにおける破損は何%位に起こりますか。

- | | |
|---------|--------------------|
| _____ % | 付属する金具等の破損 |
| _____ % | 硬質支持材の亀裂や破損 |
| _____ % | クッションカバーの破損 |
| _____ % | クッションフォームの破損 |
| _____ % | 取り外し金具の破損 |
| _____ % | 姿勢支持部品やストラップの分離や紛失 |

_____ % 装置の固定部が不全（側方体幹支持、頭部支持など）
他（記入してください） _____

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

- 固定金具破損 _____ %
 本体支持部の亀裂や破損 _____ %
 クッションカバーの破損 _____ %
 クッションフォームの破損 _____ %
 取り外し金具の破損 _____ %
 装置の固定部が破損（側方支持、頭部支持など） _____ %
 他（状況と比率を記入してください） _____

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

- _____ 合板とフォームからなる取り外し可能な平面板背支持
_____ 取り外し可能な、背形状支持
_____ 取り外し可能で、挿入タイプの背支持
_____ 取り外し可能なクッション背支持
_____ 調整可能なベルト調整式背支持
_____ 取り外し可能な短い背支持
_____ モールドプラスチックで製作された分離できるクッション
_____ 側方支持がついたディープ形状背支持

他（記入してください） _____

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

- 製品の不適切な使用
 誤用、製品寿命
 製品の設計

C.

回答者の記入をお願いします。

名前 _____

所属 _____

電話 _____

E-mail _____

（資料） 座位保持装置の破損に関するアンケート調査

2. データ集計結果

① 頭部支持

A. 製品について

どのようなタイプの頭部支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

- 取り外し可能なブロック形状、高さ調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	10	12	2	2	0	0	0	0	0	1	0

- 取り外し可能なブロック形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	7	8	2	3	2	1	0	0	0	2	1

- 取り外し可能なコンター形状、高さおよび前後調整が可能で、ビニール等のカバーを持つ、合板または硬質プラスチックとクッションからなるもの。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	5	1	2	3	3	1	2	1	2	2	4

- 硬質背支持に取り付けられ多数調整が可能なパッドからなりビニール、布、フォームからなる。

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	15	7	1	0	0	1	1	0	0	1	0

B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

背支持（バックサポート）に固定されている高さ調整可能な頭部支持

	1	2	3	4	5
曲がる	22	1	1	0	0
破損	19	4	1	0	0
調整のずれ	13	2	7	3	1

背支持（バックサポート）からの取り外しが可能で、高さと前後調整ができる頭部支持

	1	2	3	4	5
曲がる	19	4	1	0	0
破損	14	9	1	0	0
調整のずれ	5	6	7	4	3

多方向調整可能な構造の頭部支持

	1	2	3	4	5
曲がる	15	6	2	0	1
破損	15	7	2	0	0
調整のずれ	7	7	4	4	2
すべり	10	9	3	1	0

パッドカバー

	1	2	3	4	5
ほつれ	12	5	6	1	0
パッドフォーム の擦り切れ	4	13	8	1	0
表面の劣化	2	9	9	6	0

パッドフォーム

	1	2	3	4	5
圧縮性能の低下	3	9	14	0	0

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

○ 固定された調整できない部品の曲げ、破損、調整の外れ

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 取り外し可能、高さ前後調整可能な部品の曲げ、破損、調節の外れ

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 多方向調整可能構造な部品の曲げ、破損、調節の外れ

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	24	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0

○ パッドの素材の亀裂や破損

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	23	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 多調整多パッド

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

○ 背に固定された調整できない頭部支持

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	17	7	2	0	0	0

○ （バックサポートの）取り外し可能、高さ前後調整可能な頭部支持

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	11	6	3	1	4	1

○ 多方向へ調整可能な頭部支持

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	10	11	2	2	1	0

○ ビニールとフォームパッド

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	17	8	0	1		

○ 布製パッド

数量	0	1~49	50~99	100~199	200~299	300以上
人数	18	1	2	1	2	2

○ フォームのみ

数量	0	1~49	50~99	100~199	200~299	300以上
人数	21	3	1	1	0	0

○ 多パッド（複数のパッド）

数量	0	1~49	50~99	100~199	200~299	300以上
人数	21	5	0	0	0	0

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

	人数
製品の不適切な使用	13
誤用、製品寿命	7
製品の設計	8
製造工程での不備	1
強度の外力に対する強度不足	1

② 足部支持

A. 製品について

どのようなタイプの足部支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

○ 足首周囲支持

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	17	6	1	1	0	0	0	0	0	0	1

○ 角度調整型足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	12	5	4	1	0	2	0	0	0	0	2

○ 屈曲角度調整足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	15	6	3	1	0	0	0	1	0	0	0

○ 内反・屈曲調整足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	19	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 足部ボックス

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	18	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0

○ 左右一体型足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	5	1	0	2	1	3	2	0	5	6	1

B.

次のような問題はどの位の割合で起こりますか。

数字に○をつけてください（1はめったにない ～ 5はしばしばある）。

靴固定装置

	1	2	3	4	5
曲がる	1 2	1	1	0	0
破損	1 2	2	1	0	0
調整のずれ	1 2	1	0	2	0

足首周囲支持

	1	2	3	4	5
縫い目のほつれ	7	5	4	2	0
バックルの破損	1 0	2	4	1	0
調節装置の外れ	1 1	5	1	0	0

角度調節型足部板（屈曲のみ）

	1	2	3	4	5
曲がる	14	4	3	0	0
破損	18	0	1	1	0
調整のずれ	11	7	1	0	0
すべり	13	5	1	0	0

内反・屈曲調整足部板

	1	2	3	4	5
曲がる	12	2	0	0	0
破損	13	1	0	0	0

足部ボックス

	1	2	3	4	5
曲がる	9	1	0	1	0
破損	10	1	0	1	0

左右一体型足部板

	1	2	3	4	5
曲がる	19	3	0	0	0
破損	19	3	0	0	0

通常使用や部品の位置の変化などで起こった傷害（切ったり、出血したり）がありましたら、チェックして%を記入して下さい。

○足首周囲支持

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 角度調整型足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 屈曲角度調整足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 内反・屈曲調整足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 足部ボックス

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○左右一体型足部板

%	0	1-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

あなたがどのようなタイプの製品を年間に提供するか推定して下さい（数量を記入して下さい）。

靴固定装置

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	20	5	0	0	0	1

足首周囲支持

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	18	6	2	0	0	0

角度調節型足部板

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	13	11	2	0	0	0

屈曲角度調整足部支持

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	14	11	0	0	1	0

内反屈曲調整足部板

数量	0	1-49	50-99	100-199	200-299	300以上
人数	20	8	0	0	0	0

足部ボックス

数量	0	1~49	50~99	100~199	200~299	300以上
人数	20	8	0	0	0	0

左右一体型足部板

数量	0	1~49	50~99	100~199	200~299	300以上
人数	9	6	3	4	2	2

破損の一般的な原因を推定してください。○をつけるか、別の内容の場合は記入してください。

	人数
製品の不適切な使用	10
誤用、製品寿命	14
製品の設計	6
筋緊張による破損	1
金具の曲がり、折れ	1
木材の破損	1

③ 体幹前方支持

A. 製品について

どのようなタイプの体幹前方支持ですか？

あなたが提供しているタイプに○を付け、おおよその比率を記入して下さい。

○ 硬質プラスチック支持

%	0	1~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	31~90	91~100
人数	19	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1

○ ウェットスーツ生地为一体型支持

%	0	1~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	31~90	91~100
人数	16	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0

○ 伸びが抑えられているゴム材質

%	0	1~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	31~90	91~100
人数	16	5	3	0	1	1	0	0	0	0	0